

青少年健全育成講演会

「子どもと情報化社会」

子ども達を守るのは保護者の責任です

大人が変われば子どもも変わる

十一月十七日 珠自治会館で、コミュニティ教育文化部会と玖珠町教育委員会共催「大人が変われば子どもも変わる」情報モラルと大人の役割」と題して講演会を開催しました。

講師に、大分県生活環境部私学振興青少年課青少年育成班主査の川野和人氏を迎え、パソコンや携帯電話の普及により情報化された社会のなかで、子ども達を守るための大人の役割について講演をいただきました。

現在大分県でも中学生の約三割、高校生では9割以上が携帯電話を所持しており、情報の収集や発信が大



変便利になった反面、ネットによるいじめや有害サイトによる被害など情報化社会の問題点も数多く発生しています。

情報化社会の加害者・被害者にならないためには

○一度送ったメールは途中で止めることも取り消すこともできないことを認識する。

リサイクルエコバック 差上げます！

コミュニティ生活環境部会では、大分国体の「のぼり」のリサイクル活用としてエコバックを作製しました。

ナイロン製なので軽くてコンパクト、未使用ののぼりを使用していますのできれいです。お買い物に、また自治会の回覧用の袋として・・・使い方はアイデア次第。希望者に差上げますので、「くすふれあいホール」まで！



- もし、掲示板などに自分のことを書き込まれた時は、気にならない程度であれば無視する。内容がひどい場合は知人や専門機関・警察等に相談する。
- ネットの情報が全て真実とは限らない、うのみにしない。
- 肖像権など法律の知識を身につける。
- 自分の個人情報、自分を守るために大切なもの。むやみに他人に知らせたり公開したりしない。

大人の役割

○まず大人が現状を知るための学習の場を設けま

- 保護者として、ケータイやネットの利用について子どもと話をしましょう。
 - 大人もケータイやネットをコミュニケーションツールとして活用し学びましょう。
 - 何かトラブルが起きた時、すぐに相談できる関係を普段から築きましょう。
- 講師の川野氏は「携帯電話を持つことが悪いと言っているわけでは決してありません。ルールを作って約束ごとを守り正しく使えるように、きちんと話し合いましょう」と結びました。

季節の花満開

くすふれあいホールの玄関では、夏の間次々と花を咲かせたサルビアも季節を終え、先日パンジーや葉ぼたんなどの冬の花に植え替えが行われました。

花好きな方が、ボランティアで土づくりから二日ばかりで植え替えをして下さり、色とりどりの花が訪れる人を迎えてくれています。きれいに咲いた菊の花も飾っていたが、今ふれあいホールは季節の花満開です。

